

第18回全国障害者スポーツ大会（福井しあわせ元気大会）
バレーボール競技実施要領

1 競技規則

平成30年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

(1) 聴覚障害者のチーム

ア チームの構成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、手話通訳者1名および選手12名以内とする。

イ 監督およびコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手人数は、選手を兼ねる監督およびコーチを含めて12名以内とする。

ウ 男女別にチームを編成する。

(2) 知的障害者のチーム

ア チームの構成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名および選手12名以内とする。

イ 男女別にチームを編成する。

(3) 精神障害者のチーム

ア チームの構成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名および選手12名以内とする。

イ 男女混合でチームを編成する。（試合中は少なくとも1名以上の女性プレーヤーが出演していなければならない。）

3 競技方法

(1) 試合は、聴覚障害者の部（男女別）、知的障害者の部（男女別）および精神障害者の部ごとにトーナメント方式とし、3位決定戦を実施する。

なお、トーナメント戦以外に、交流戦を実施する。

(2) 全試合3セットマッチとし、2セットを先取したチームを勝ちとする。

(3) 1セット25点のラリーポイント制とする。

なお、得点が「24対24」の同点となった場合、それ以降は、2点リードしたチームをそのセットの勝者とする。

(4) 第3セットは25点制で行い、コートの変更はいずれかのチームが13点先取したときに行う。

(5) 試合は、ワンボールシステムで行う。

(6) 設定時刻を越える場合は直前の試合終了の10分後にプロトコールを開始する。ただし、連続試合となる場合は試合終了後の20分後にプロトコールを開始する。

4 服装等

(1) 競技者番号は、1番から12番までとする。やむを得ない場合は、1番から99番まで認める。キャプテンマークおよび競技者番号等のサイズは、規定のものとする。また、ユニフォームに都道府県名・指定都市名を表示すること。

(2) リベロプレーヤーを採用する場合は、他の競技者と明確に区別できるユニフォームを

着用する。

5 試合球

- (1) 聴覚障害者の部および知的障害者の部の試合球は、次の（公益財団法人）日本バレーボール協会検定球5号球とする。
 - ア 男子 ミカサ製カラーボール（MVA300）
 - イ 女子 モルテン製カラーボール（V5M5000）
- (2) 精神障害者の部の試合球は、日本ソフトバレーボール連盟公認球ソフトバレーボール球・糸巻きタイプ（モルテン製円周 78 ± 1 cm、重量 $210\text{ g}\pm 10\text{ g}$ ）（S3Y1500-WX）とする。

6 組合せ

組合せは、平成30年8月に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いの下に代理抽選の上、決定する。

7 開始式・表彰式

開始式および表彰式は、競技会場で行う。

8 その他

- (1) 平成30年10月12日（金）に監督会議を行う。
なお、監督会議の時間および場所については別途通知する。
- (2) 監督会議では、あらかじめ主催者と協議した事項について、大会申し合わせ事項を設けることができる。
- (3) ベンチには、選手、監督、コーチ、マネージャー、手話通訳者以外は入ることができない。
なお、監督、コーチ、マネージャーは規定のマークを左胸部につけることとし、未着用の場合はベンチに入ることができない。ただし、手話通訳者にあってはこの限りでない。
- (4) 監督、コーチ、マネージャーは統一された服装を着用すること。
- (5) 競技場内へは、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (6) 練習は定められた場所で安全に留意し、主催者の指示に従って行うものとする。
- (7) 荒天時他不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。